

単元名

# 原のよさを紹介し隊！～原のよさを紹介板で地域に紹介しよう～

本単元で育成する資質・能力

郷土愛

## 1 単元について

### 【考え・基礎知識】

調べたことを分かりやすく伝えるための紹介文の構成や記述の仕方について理解する。

### 【つながり】

紹介したい場所に関する情報を集め、効果的な記述の仕方を活かして、「原のおすすめスポット紹介板」に紹介文を書く。

### 【応用・ひろがり】

「原のおすすめスポット紹介板」を地域に掲示し、情報を発信し、ウォークラリーを実行する。

### 児童の実態

- ★ 町探検等で、地域を知る学習を行っているが、理解を深める取組や活動をあまり経験しておらず、「自分たちが住む地域のよさを説明できますか。」という質問に対して、具体的に書くことができた児童の割合は、約50%である。 —①
- 5月実施標準学力調査の「メモをもとに、事柄の順序を考えながら、文章を書く」ことの設定で、正答率は約60%であり、誤答として、内容はほぼ書けているが、敬体で書けていない。 —②
- 1学期「自己紹介を書く」活動から適切に表現できた児童の割合（段落構成86%、順序73%） —③

### 教材について

- 町のおすすめスポットを紹介するまでの学習の流れが分かる。  
→ 目的に応じ、取材を行い、多くの情報から必要な情報を整理し、紹介文を書く方法を見通してもって学ぶことができる。
- 町のおすすめスポットを紹介する理由や事例がある。  
→ 理由や事例から紹介文の構成や記述の仕方を具体的に学ぶことができる。
- 互いの紹介文について、発表し合い、意見を述べ合う活動がある。  
→ 相手や目的に応じているかという視点を明確にし、よりよいものにするための交流ができる。

### 育成したい資質・能力と目標

★**資質・能力** ○**国語科**

- 【郷土愛】
- ★ おすすめスポットの紹介板作りを通し、地域への理解を深めている。
  - ★ 「地域のおすすめスポット」の紹介板作りを通し、地域の活動への参画し、地域のよさを理解することができる。 【原小 資質・能力ルーブリック レベル2】
  - 目的に応じた伝え方の工夫に興味をもち、町の紹介することを伝える紹介板作りに取り組もうとする。 【国語への関心・意欲・態度】
  - 関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べることができる。 【書くこと ア】
  - ◎ 書こうとするものの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くことができる。 【書くこと ウ】
  - ◎ 文章の間違いを正したり、相手や目的を意識してよりよい表現に書き直したりすることができる。 【書くこと オ】
  - ◎ 書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合うことができる。 【書くこと カ】
  - 表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解し、調べることができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(カ)】

## 単元を貫く言語活動とその特徴

「自分たちが住んでいる地域にあるおすすめスポットの紹介板を作成し、地域に発信する」活動を設定する。地域の名所の良さを伝える紹介板を作成することを通して、相手や目的を常に意識して主体的に情報を整理・分析しながら、分かりやすく紹介文を書く能力を身に付けさせることができる。と考える。

### 指導のポイント

- ① 紹介板の構成は目的に応じて異なり、おすすめスポットごとに内容は異なる。そこで、紹介板を作るための情報を自分たちで集める必然性が出てくるため、主体的に情報収集に取り組ませる。
- ② 紹介板に書く内容は、単元を通し、目的や相手意識を常に意識させる指導や支援を行い、なぜこの書き方が大切なのか考えさせる。
- ③ 限られたスペースに目的や意図に応じて伝えたいことを書くために、文章構成を考え書くという必然性をもたせる。

## 2 単元の評価規準

資質・能力 【郷土愛】	★ おすすめスポットの紹介板作りを通し、地域への理解を深めている。 ★ 「地域のおすすめスポット」の紹介板作りを通し、地域でまちづくりをされている方や名所を守っておられる方の活動へ参画し、地域のよさを理解している。	
国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
○ 町の紹介したいことを地域の方に伝えるために、紹介板作りを意識的に取り組もうとしている。	○ 関心のあることなどから書くことを決め、地域の方に原のよさを伝える紹介板を書く上で必要な事柄を調べている。 【書くこと ア】 ◎ 書こうとするものの中心を明確にし、地域の方に原のよさを紹介するという目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書いている。 【書くこと ウ】 ◎ 紹介文の間違いを正したり、地域の方に原のよさを紹介するために、よりよい表現に書き直したりしている。 【書くこと オ】 ◎ 書いた紹介文を発表し合い、書き手の考えの明確さや書き方の巧みさなどについて意見を述べ合っている。 【書くこと カ】	○ 紹介文に、表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べている。  イ(カ)

### 3 単元の計画 (全10時間)

次	時	学 習 内 容	評 価			
			関	書	言	○教科の評価規準 (評価方法) ★資質・能力の評価規準 (評価方法)
単元前		<b>課題設定 (2)</b> ・町探検を想起し、地域の方が作成したマップを見ながら話し合う。 (総合的な学習の時間)				
	1	<b>情報の収集 (2)</b> 1 ・自分たちの町のおすすめスポットを紹介するために、目的に応じた伝え方の工夫に興味をもち、町の紹介したいことを紹介板で伝えるということを見通し、教材文を読み、グループで調べる計画を立てる。 2 ・関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べている。	○			○ 町の紹介したいことを地域の方に伝えるために、紹介板作りに意欲的に取り組もうとしている。 (ノート・児童観察) ○ 相手や目的を意識しながら、紹介板を作成するという見通しをもっている。(ノート・児童観察)
2	3 4	<b>整理・分析 (2)</b> ・調べてきた情報や資料から、自分たちが紹介したい内容に応じたものをグループごとに整理・分析する。		◎	○	○ 相手や目的に応じて、伝えたい事柄が明確に伝わるように、必要な情報や資料を考えている。 (ノート・児童観察) ○ 紹介板に、表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べている。 (ワークシート)
3	5 6 7	<b>まとめ・創造・表現 (3)</b> ・個人で書こうとすることの中心を明確にし、地域の方に原のよさを伝えるために理由や事例を挙げて紹介文を書く。 ・グループでの紹介板にまとめる。 ・紹介文の例を推敲することから、紹介板を書くポイントを想起し、自分たちの紹介文を推敲する。【本時】			○	○ 個人やグループで書こうとすることの中心を明確にし、地域の方に原のよさを伝えるために理由や事例を挙げて書いている。(ワークシート)
	8 9 10	<b>実行 (2)</b> ・推敲したことを基に、個人やグループの紹介文を完成させ、グループで意見を述べ合う。 <b>ふりかえり (1)</b> ・学習を振り返って、「ふりかえり」を書く。			○	○ 書こうとすることの中心を明確にし、学んだポイントを根拠として、紹介文を推敲している。 (発言・ワークシート) ★ おすすめスポットの紹介文作りを進めていくことを通して、地域への理解を深めている。 ○ 書いた紹介文を発表し合い、書き手の考えの明確さや書き方などについて意見を述べ合っている。 (ワークシート)
単元後		・「三ツ池交流会」で地域や保護者、校内の児童に、作成した紹介板を用いて、地域のおすすめスポットを紹介し、地域の魅力を発信していく。(総合的な学習の時間) ・作成した紹介板を用いて、地域のおすすめスポットウォークラリーを行う。				★ 「地域のおすすめスポット」の紹介板を設置し、三ツ池ふれあい交流会やウォークラリーの行事を通して、地域の活動への参画し、地域のよさについて理解を深めている。

#### 4 本時の展開 (本時 7/10)

##### (1) 本時の目標

★ おすすめスポットの紹介板作りを通し、地域への理解を深めている。【郷土愛】

○ 地域の方に原のよさを伝えるために、書こうとすることの中心を明確にし、適切な理由や事例を考えながら、紹介文を推敲することができる。【国語科 書くことオ】

##### (2) 本時の展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 (◆配慮を要する児童への支援)	評 価 規 準 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★) (評価方法)
つかむ	1 推敲が必要な紹介板の例を提示する。 2 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童と共に立てた学習計画を確かめ、紹介板作りで出された児童の疑問や課題から、作成した紹介板の例を推敲するという目的意識をもって学習に取り組めるようにする。</li> </ul>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて グループで、原のよさをつたえようかいい文をよりよいものにしよう。</div>		
考える  深める	3 学んだことを振り返り、グループで作成した紹介板を推敲する。 (1) 自分で考える。 (2) グループで意見を交流する。 (3) 全体で意見の交流をする。  4 推敲のポイントを想起しながら、自分たちの紹介板の推敲を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>紹介板の誤答例から、「中心の明確化」や、「取材した情報を適切に用いた理由や事例」「敬体や推量などの文末表現」を視点に、推敲していく。</li> <li>各グループで推敲する点を発表させ、グルーピングをしながら、よりよい紹介板にする。</li> <li>◆ 既習事項を想起させる発問や支援を行う。</li> </ul>	
まとめる	まとめの例 <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>「大空山は、山があったところに、『大空』という地名があったから、大空山とよばれています。」と理由を考えて書くことができた。</li> <li>「～だ。」と「です。」がまざっていたので、地いきの人に伝えるので、「～です。」「ます。」にそろえたい。</li> <li>取材メモを見て、「地ぞうさんのよさ」の話が書けていたので、地いきの人にしようかいいできます。</li> </ul> </div>		○ 地域の方に原のよさを伝えるために、書こうとすることの中心を明確にし、適切な理由や事例を考えながら、紹介文を推敲している。(発言、ワークシート)
ふりかえる	4 「本時の学びを、今後どのように活かすことができるか」という観点で振り返りを行う。	<振り返りの例> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの紹介板もよく見ると、先生の紹介板のようになっていたところがあったので、今日の学習で大切だったことを使って書き直すことができた。地域のことをもっとよく調べて、これから、自分の紹介文もよりよくしていきたい。</li> <li>自分たちの紹介板には、大切なポイントに気をつけて書くことができていて、安心した。もっと良い紹介板を作り、地域の人におすすめポイントを紹介したい。</li> </ul>	★ おすすめスポットの紹介板作りを通し、自分のおすすめスポットを紹介するという目的を意識することで、地域への理解を深めている。(児童観察)

5 板書計画

原のよさを地いきの人にしようかいするため

目的

相手

まとめの例

・ 天笠山は、山があったところに、『天笠』という地名があったから、大平山とは呼ばれていません。」と理由を考え  
て書くことができた。

・ 「だ」と「です」がまざっていたので、地いきの人に伝えるので、「です」「ます」にそろえたいです。

・ 取材メモを見て「地いきさんのよさ」の話が書けていたので、地いきの人にしようかいできます。

聞いた話

理由

です

呉越の名水

昔、阿賀から県市の中央地いきに行くためには、休  
山道のトンネルがなかったので、人も車も「呉越と  
うけ」というきょうな細い道を通らなければいけませ  
んでした。その呉越とうけの道を上っていった先に名  
水の湧き出しがあった。「呉越の名水」とよんだ。  
けわしい道を進んで来た人々は、「呉越の名水」で  
のどかわきをうるわし、また道を進んでいったそう  
す。また荷車を引く牛や馬にも、とうけで一休みす  
るといい。「この名水を飲ませました。」

今でも、原の地いきの人だけでなく、県市内からも  
水をくみに来る人がいます。よく水をくみに来る方に  
聞くと、「がまがりにもおいしい水がありますよ。」と  
言っていました。

までも、おいしい水がわきあふびけるように、こ  
もこの名水を大切にしていきたいしょう。

辰崎先生

今話したよ

くわえの名水

この水は、くわえの山の上にある。この水は、くわえの山の上にある。この水は、くわえの山の上にある。

しゅざいメモから事例を  
考える。(中心)

めあて

めあて グループで、原のよさをつたえるしようかい文をよりよいものにしてよう。

原のよさをしようかいしたい！

く原のよさをしようかいばんで地いきの方にしようかいしよう

ふり返り

自分たちの紹介板もよ見ると、先生の紹介板のようになっていたところがあつたので、今日の  
学習で大切だったことを使つて書き直すことができた。地域のことをよく調べて、これから  
自分の紹介文もよりよくしていきたい。